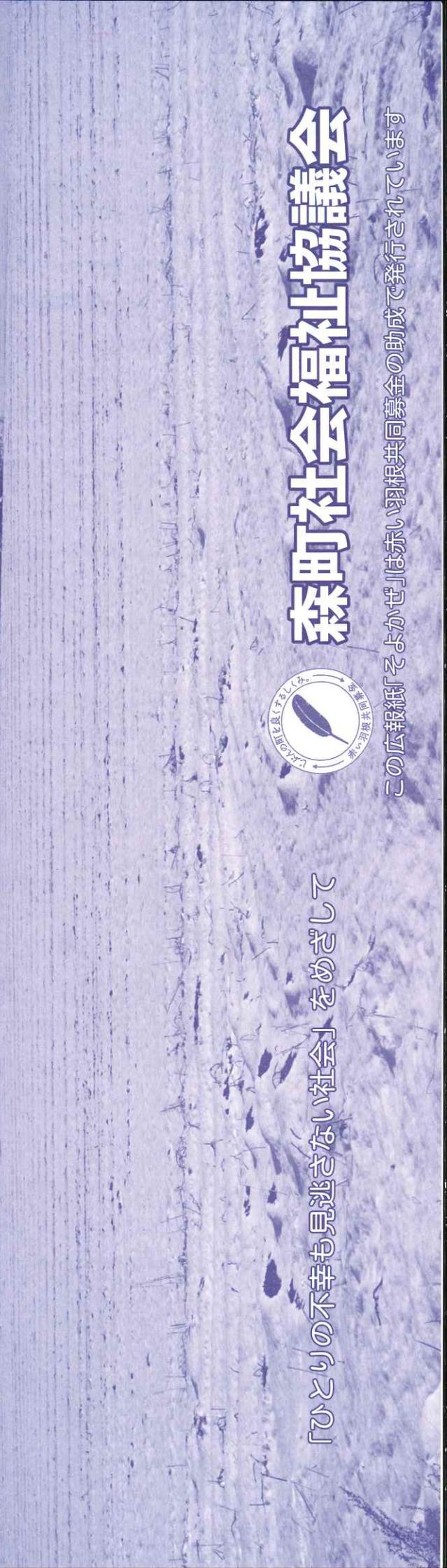


1

2026
第89号

ふれあいネットワーク

そよかぜ



「ひとりの不幸も見逃さない社会」をめざして



森町社会福祉協議会

この広報紙「そよかぜ」は赤い羽根共同募金の助成で発行されています



年頭のあいさつ

新年明けましておめでとうございます。令和8年の年頭にあたり、ご挨拶を申し上げます。

皆様には当社協運営に対し、温かいご支援、ご協力、そしてご指導をいただき、心より厚くお礼申し上げます。本当に有難うございます。

世界の平和は未だ訪れず、自然災害を含め様々な事象が起こった昨年、今年こそ平和が訪れることを切に願うものです。併せて皆様の益々のご発展とご多幸、ご健康を切にお祈り申し上げます。

さて、旧砂原町社協と旧森町社協は合併から20年の年月を重ね、昨年、節目の年を迎えました。その間、新型コロナウイルス感染症が世界に拡大し、今までの生活は一変してしまいました。その後、徐々に町内会活動をはじめ、各団体の活動も従前の状態に戻ってまいりました。当社協も事務局長の交代があり、新たな風を感じております。

他方、当町の高齢化率が高まる中、町民福祉のニーズに応えることが何より重要であると考えます。社協事業は、行政との両輪であり、町民の福祉に資する役割を果たすことが大前提です。行政に大いに期待しつつ、今後の事業推進に取り組んでまいります。

当社協は森町老人クラブ連合会をはじめ、各種団体の事務局を担当しておりますが、円滑な活動をサポートすることにより会の運営強化に努力してまいります。また、各町内会には、福祉委員を委嘱しており、一人の不幸も見逃すことなく、情報提供をお願いしております。加えて、町民のニーズに沿った取り組みがなされていなければなりません。法人後見事業、生活支援に関わる事業や生活困窮者対応のフードバンクなど、社会問題に関わる事業は、行政の指導のもと、さらに取り組んでまいります。

昨年は、経済状況の厳しい中、団体や個人の方々から、貴重なご寄附をいただきました。お寄せいただいた寄附金は生活のつなぎ資金として、愛情銀行の事業運営の原資などに使わせていただきます。本当に有難うございました。また、ボランティア活動に邁進されている方々、そして毎日の生活支援を担っておられる支援員の皆様に、衷心より感謝申し上げます。

行政及び町内会をはじめ、各団体の皆様のご支援いただきながら、役職員一同心新たに福祉サービス向上に向け、一生懸命頑張ります。また、職員一同、常に笑顔で皆様をお迎えしておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

皆様には幸多き一年でありますよう、お祈り申し上げ、ご挨拶といたします。



森町社会福祉協議会
会長 伊藤 秀信

地域福祉活動の紹介

街頭募金へのご協力ありがとうございました

10月4日、ホクレンショップ森店およびイエローグローブ森店のご協力のもと、「森町街頭募金実行委員会」（森高等学校生徒会を含む）による街頭募金活動を実施いたしました。当日は天候にも恵まれ、多くの町民の皆さまにお立ち寄りいただき、温かいご支援とご協力を賜りました。



心身障がい者のつどい「ふれあいの森」を開催しました

10月7日（火）、さわやかセンター・砂原において、「森町心身障がい者のつどい ふれあいの森」（菊池徳子実行委員長）を開催いたしました。当日は、当事者団体、行政機関、ボランティア団体など、70名を超える皆さまにご参加いただきました。交流企画としてチーム対抗「ふれあいポッチャ交流大会」を実施し、会場は笑顔と声援に包まれ、大いに盛り上がりました。ご参加いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。



さくらの園敬老会に参加しました

10月1日（水）、さくらの園で開催された敬老会に、「傾聴ボランティアひまわり」および当会の伊藤会長が招待されました。

当日は、傾聴ボランティアひまわりの皆さんが楽しい演芸を披露し、会場を大いに盛り上げました。

また、伊藤会長による力強い万歳三唱で、参加者の皆さまの笑顔がさらに広がり、温かい雰囲気にも包まれた敬老会となりました。ご招待いただきました関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。



ane妻サークル主催サイエンス教室

11月15日（土）、ane妻サークル主催の第8回サイエンス教室が開催され、地域の幼児・小学生あわせて約50名が参加しました。

今年は森高等学校の先生方を講師にお迎えし、科学に関するクイズや実験を交えた楽しいプログラムが実施されました。子どもたちは目を輝かせながら参加し、身近な不思議を体験できる内容に会場は大いに盛り上がりました。参加者からは、「学校ではできない体験ができて楽しかった」などの声が多く寄せられ、科学への興味がさらに深まった様子がうかがえました。



小地域ネットワーク活動の紹介

砂原中央町内会



▶10月18日、森警察署、砂原幼稚園児とともに声かけ訪問をし、箱ティッシュセットとゴミ袋をお届けしました。

鳥崎町内会



▶10月15日、45名の方に、おいなりさんとおにぎり・おかずセット・果物・お菓子をお届けしました。

本町東部町内会



▶本町東部町内会敬老事業を10月19日(日)に実施し、対象者52名に夢もり商品券をお届けしました。

本町西部町内会



▶12月10日、29名の方に、ケーキ、ティッシュ、キッチンペーパー、手作り小物をお届けしました。

上台町内会



▶10月19日、対象者53名に声掛けとともに、お手紙を添えたお弁当をお届けしました。

～小地域ネットワーク活動～

各町内会が行う福祉活動は配食にとどまらず、特色ある様々な活動が実施されています。

社協では、そうした活動が地域全体に広がるように広報「そよかぜ」を通して、地域福祉活動を紹介しています。

小地域ネットワーク活動の紹介

森川町内会



▶9月20日、99名の方に、手作りお赤飯とお茶をお届けしました。



▶10月11日、100名の方に、おいなりさんとお茶をお届けしました。



▶11月15日、102名の方に、五目御飯とお茶をお届けしました。

駒ヶ岳町内会



▶10月19日、39名の方に、五目ごはん、味噌汁、お手紙をお届けしました。



▶11月9日、39名の方に、お赤飯、果物にお便りを添えてお届けしました。

新川町内会



▶9月13日、27名の方に、お赤飯をお届けしました。

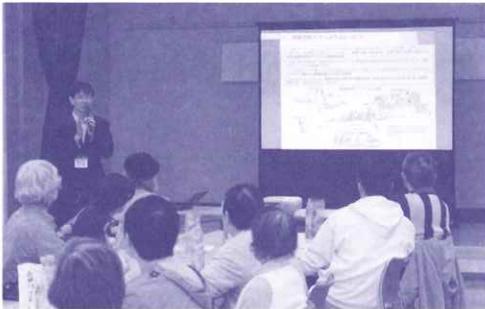
町老連「レクリエーション大会」

11月5日、森町公民館にて「町老連レクリエーション大会」が開催され、当日は70名を超える参加があり、会場は大いに賑わいました。参加者の皆さんは、輪投げやバグゴゲームなどの頭とからだを使うさまざまなレクリエーションに楽しみながら取り組み、終始笑顔があふれる時間となりました。



「町老連ブロック研修会」

町老連では、所属する17クラブを6ブロックに分け、研修と交流を目的とした「ブロック研修会」を毎年開催しています。今年度も各ブロックで研修会が順次開催されており、どの会場も多く参加者でにぎわい、無事に研修を終えることができました。研修会では、健康づくりや防災、身近な福祉のテーマなど、地域で安心して暮らすための学びを深める内容が盛り込まれています。また、クラブを越えた交流の場として、参加者同士が近況を語り合う姿や、久しぶりの再会を喜ぶ声も多く聞かれました。



(10月14日、第1ブロック)



(9月26日、第2ブロック)



(7月15日、第3ブロック)



(10月12日、第4・5ブロック)

町老連花壇事業、無事終了しました!

町老連では、地域美化活動の一環として、サンビレッジ前の花壇整備事業に取り組んでいます。令和7年度も花の植栽や手入れを行い、地域の皆さんに季節の彩りを届けてきました。11月12日には、鳥崎八千代会の皆さんにより後片付け作業をしていただき、花苗撤去や清掃など、丁寧な作業で一年の活動を締めくくりました。



森町ボランティア連絡協議会「所属団体交流会」

森町ボランティア連絡協議会では、日頃から地域でご活躍いただいているボランティアの皆さんの労をねぎらうとともに、団体同士の交流を深めることを目的に、「所属団体交流会」を11月11日、森町公民館にて開催しました。当日は、65名もの皆さんにご参加いただき、会場は終始にぎやかな雰囲気になりました。交流会では、チーム対抗のレクリエーション大会として、「バグーゲーム」「ラダーゲッター」「あやこ投げ」の3種目が実施され、得点が入るたびに大きな歓声があがり、会場は大盛り上がり。初めて顔を合わせる方同士でも自然と会話が弾み、笑顔あふれる交流の場となりました。

ご参加いただいた皆さん、そして日頃から地域を支えるボランティア活動にご尽力いただいている皆さんに、心より感謝申し上げます。今後も、活動団体間のつながりを深められる機会づくりに取り組んでまいります。



森町手をつなぐ育成会 秋のバス研修

森町手をつなぐ育成会では、9月17日、チェリーサークルおよびサポーターさくらと合同で「秋のバス研修」を実施しました。当日は、会員の皆さんが和やかな雰囲気の中で交流を深めながら、熱帯植物園や函館空港、五稜郭タワーを巡りました。熱帯植物園では珍しい植物を観察し、函館空港では普段は見ることのできない施設を見学するなど、参加者一同、心に残るひとときを過ごしました。参加された皆さんからは、「とても楽しかった」「また参加したい」といった声が寄せられ、充実した研修となりました。今後も会員同士の交流と学びの機会を大切にまいります。



渡島地区身体障害者福祉協会レクリエーション交流会

森町身体障害者福祉協会は、10月8日（水）、木古内町ファミリースポーツセンターで開催された「渡島地区身体障害者福祉協会レクリエーション交流会」に参加しました。当日は、渡島管内の各町から参加者が集まり、他町との混合チームに分かれてポッチャ交流会を実施。初対面同士でもゲームを通じて自然と会話が弾み、笑顔あふれる和やかなひとときとなりました。森町の参加者もリラックスしながら競技を楽しみ、地域を越えた交流を深める貴重な機会となりました。



「フラワーサロン森」

ボランティア会員募集のお知らせ

「フラワーサロン森」は、平成23年6月20日に設立された15年目を迎えるボランティア団体です。会員は15名で、主な活動は「ふれあいサロン」ボランティアです。

毎月のふれあいサロンでは、受付、調理、レクリエーションの担当に分かれて「気軽に」、「無理なく」、「楽しく」、「自由に」をモットーに、参加者の皆さんに喜んでいただけるよう活動しております。

現在、ボランティア会員募集中ですので、お気軽に社協までご連絡ください。

(TEL 3-2280)



毎月盛況！「ふれあいサロン」

森町社会福祉協議会では、介護予防や引きこもり防止を目的に、毎月1回「ふれあいサロン」を開催しています。実施にあたっては、ボランティア団体「フラワーサロン森」の皆さんにご協力いただき、地域の交流の場として多くの方にご参加いただいています。10月21日は、濁川活性化センターにてサロンを開催しました。希望者は温泉入浴、レクリエーションで心も体もリフレッシュし、昼食には濁川地区の農家さんからご寄贈いただいた「新米」と「あたたかい豚汁」を味わいました。参加者の皆さんからは、「やっぱり新米は美味しいね!」との声が多く聞かれ、和やかな交流の時間となりました。



経済的な理由で生活に困っている方へ、自立に向けた相談を行い食料品等を提供します。

フードバンク活動事業

森町社会福祉協議会では、生活困窮者に対する「フードバンク活動事業」による支援に取り組んでいます。

◆ 事業の内容

フードバンク活動事業は、経済的な理由で一時的に生活が困窮した世帯に、自立した生活が送れるよう相談による支援を行い、食料品等を無償で提供する事により地域における困りごとを地域全体で支え合う活動です。

また、利用されていない食料品等の寄付をお願いして事業を運営しますので「食品ロス」を減らし、資源の有効活用にもつながります。

(消費期限が近付いた食料品等は、町内の福祉関係事業所等に提供する場合がございます。)

※生活保護受給中の方は、ご利用できません。(申請中の方を除きます。)

◇フードバンク活動事業 利用者の状況 (令和7年9~11月) 7件

◇フードバンク活動事業へ寄付受付の状況 (令和7年9月1日~11月30日現在)

寄付者	種類 / 食料品等
匿名様(個人)	現金
計 4 件	





森町社会福祉協議会・小型除雪機貸出事業について



- 森町社会福祉協議会では、自力で除雪を行うことが困難な高齢者、身体的な理由により除排雪することが困難な世帯の除雪（ボランティア）支援をする人〔※(例) 町内会・ボランティア団体・町民有志等〕に無償で小型除雪機を貸し出します。
- 除雪が入れない生活道路や通学路、歩道などの除排雪にも大変便利です。お気軽に申込みください。
- 詳しいことは、森町社会福祉協議会3-2280番へお問い合わせください。

〰〰〰〰〰 小型除雪機貸出事業の利用実績について 〰〰〰〰〰

- ① 森町社会福祉協議会：小型除雪機 3台 [森地区：2台・砂原地区：1台]
- ② 使用期間：令和6年12月中旬～令和7年3月《*この事業は、毎年冬期間実施します。》
- ③ 貸出対象：町内会・ボランティア団体・町民有志等…に貸出します。
- ④ 貸出期間：使用期間は3日間以内とします。（ただし、状況においては延長も可能です。）
- ⑤ 除雪機の運搬：運搬は、使用者が行います。*運搬用の軽トラックを貸出しますので、ご利用の方は申込みください。★付帯貸出用具：アルミスロープ・ガソリンタンク
- ⑥ 燃料は、使用者が使用後、満タンに入れて返却してください。
- ⑦ 申請者は、『小型除雪機利用申請書』を、森町社会福祉協議会・森町砂原支所に提出してください。
- ⑧ 利用希望者は、ボランティア保険に加入してください。
★保険料は、1人350円です。（*除雪機を操作する方）
★保険の申込みは、森町社会福祉協議会で受付します。



〰〰〰〰〰 車両貸出事業の利用について 〰〰〰〰〰

- 森町社会福祉協議会では、軽四トラックを無料で貸出します。この事業は、『小型除雪機貸出事業』に伴い、冬期間は除雪機の運搬用に『軽トラック』を無料で貸出しするものです。
- その他、通年『車両貸出事業』として、町内会・ボランティア団体等の各種行事・事業等に無料で貸出します。
なお、燃料は実費負担といたします。
★詳しいことは、森町社会福祉協議会へお問い合わせください。（☎3-2280）



善意のご寄附 ありがとうございます

(愛情銀行へ)

・故 鈴木 知子 様

1,000,000円

前号から令和7年11月30日寄付分までを掲載しています。



福祉用具等無料貸出の ご案内

社会福祉協議会で保有する車いす・レクリエーション用具、プロジェクター、軽トラなど無料で貸出しております。町内会行事やサークル活動にご利用ください。

その他、いろいろありますのでお問い合わせください。社協職員が指導いたします。



灯籠事業

町民の方がお亡くなりになった際に、町内の葬儀社のご厚意により社協の灯籠を供奉させていただきます。※地域福祉の推進は、住民参加が基本と考えられることから、現在、社協では住民会員制を設け活動へのご協力をいただいています。このことから会員の方が亡くなられた際にはご冥福をお祈りし、各葬儀社さまのご協力のもと灯籠事業を実施しています。



【灯籠事業協賛葬儀社】

- ・(有)伊端造花店 (2-2374)
- ・(有)ひらた葬祭社 (8-2047)

俳句「四十雀俳句会」

※興味のある方は、一緒に俳句を楽しみませんか。
お問い合わせは 2-2421 坂本俊男まで

佐保姫の
めざめ花咲き 川の音
三浦 加代子

秋ナスの
色に映せし うま味かな
横山 みどり

森町共同募金委員会ご当地ピンバッジ 第13弾の原画を募集いたします!

今年のテーマは「自分が好きな森町をピンバッジにする」です。森町の名物など(自分が森町の名物だと思っている物でも良いです)、自分が好きな森町をピンバッジのデザインにし、作成ください。また、デザインには必ず「赤い羽根のマーク」、「森町(ひらがな・英語も可)」、「2026」を入れてください。見事、最優秀賞を獲得した原画を令和8年度森町共同募金委員会のご当地ピンバッジデザインといたします。また、今年も小学生以下の児童の皆様の絵に限定して、募集いたしますので、ふるってご応募ください。

締切:2月27日(金) 提出方法:社協まで用紙を持参願います。

問合せ先:森町共同募金委員会(森町社協内) 電話 3-2280

【編集・発行】社会福祉法人 森町社会福祉協議会

〒049-2326 茅部郡森町字御幸町3-2

電話:01374-3-2280 FAX:01374-3-2281

【印刷】株式会社 P&Sいわた

〒049-2313 茅部郡森町字森川町182

電話:01374-2-2355 FAX:01374-2-6344

年末年始のお知らせ

年末年始の業務は、

令和7年12月27日(土)から

令和8年1月4日(日)まで

休業とさせていただきます。